

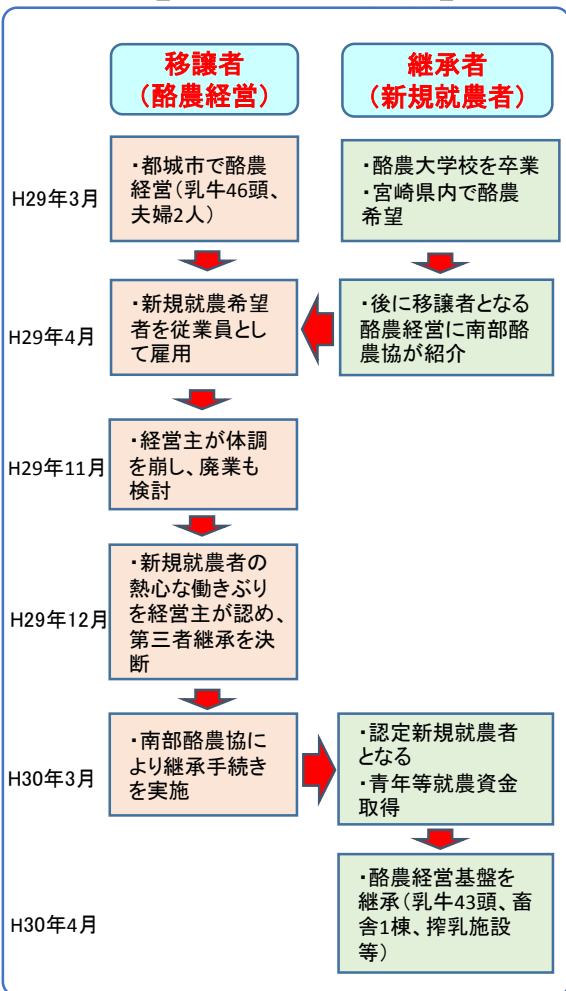
# 酪農における第三者継承を活用した新規就農事例

～宮崎県南部酪農業協同組合 都城市～



酪農経営を始めるためには、乳牛の導入の他、畜舎や搾乳施設等が必要となり、農業の中でも多額な初期投資が必要なことから、新規就農者には高いハードルとなっている。このため、初期投資を抑え、経営の開始が可能となる第三者継承の取組が重要。

## 【これまでの経緯】



南部酪農業協同組合



新規就農者

## 【ポイント】

- ・酪農協の全面的な支援により、経営移譲、認定新規就農者、青年等就農資金等の各種手続きを円滑に実施。
- ・継承者(新規就農者)が移譲者から信頼を得られることが何よりも大事。(一定期間、共に働き、信頼が得られた)
- ・初期投資を抑え、青年等就農資金の範囲内に継承資産を納めるため、土地、農地は借地。
- ・継承した畜舎と移譲者の自宅は隣接しているが、必要以上に口を出さないなど、一定の距離を保つことも良好な関係の要因。